

2021年4月20日

報道関係者各位

国立大学法人筑波大学

## 新型コロナウイルス感染症対策研究の成果を公開 ～筑波大学「知」活用プログラム～

筑波大学研究戦略イニシアティブ推進機構は、2020年5月より、本学の幅広い研究分野を駆使し、世界規模で広がる新型コロナウイルスによる危機的状況の解消を目指すプロジェクトとして、学内公募型研究助成「新型コロナウイルス緊急対策のための大学『知』活用支援プログラム」を実施してきました。このたび、その助成期間が終了し\*、全27の研究プロジェクトの成果を、インタビュー記事としてウェブサイト上で公開しました。

本プログラムを通して、ウイルス、健康維持、心理ケア、教育システム、人の移動や密集、情報拡散、文化・芸術振興、家族関係など、私たちの暮らしに関わる多様な課題に対する研究成果が生み出され、すでに教育現場などでの活用が始まっている事例もあります。本ウェブサイトでは、これらの成果がわかりやすく紹介されています。

○筑波大学「知」活用プログラム 研究成果インタビュー

[https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight\\_covid19\\_interview/](https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight_covid19_interview/)

\*プログラム助成期間・採択数

短期集中型：2020年5月末～10月末 18件採択

中期型： 2020年5月末～2021年3月末 9件採択

### 問い合わせ先

萩原 友希江（はぎわら ゆきえ）

筑波大学 URA研究戦略推進室 リサーチアドミニストレーター

E-mail: [hagiwara.yukie.fn@un.tsukuba.ac.jp](mailto:hagiwara.yukie.fn@un.tsukuba.ac.jp)

Tel: 029-853-4479

## 筑波大学「知」活用プログラム 研究プロジェクトの成果

研究代表者	所属	タイトル
<b>医療</b>		
川口 敦史	医学医療系	新型コロナウイルスに感染するマウスの作製 治療薬開発のヒントや重症化リスクの原因解明へ
三浦 謙治	生命環境系	植物を使った効果的なワクチン生産技術の開発 「つくばシステム」を活用して
重田 育照	計算科学研究センター	スーパーコンピュータを活用して 「効く薬の候補」を素早く見つけ出す
宮寺 浩子	医学医療系	新型コロナウイルス抗原提示領域のデータ共有をめざす ワクチン開発や免疫研究への基礎知見を蓄積
<b>健康</b>		
山田 実	人間系	介護予防のためにコロナ禍における高齢者の身体活動量を調査 2020年の緊急事態宣言期間中は活動時間が3割減少
堀 愛	医学医療系	コロナ禍がもたらす“健康格差”を見える化 インターネット調査による縦断研究
岡本 嘉一	医学医療系	コロナ禍でのより適切なランニング作法とは？ 実験でマスクの効用を明らかにする
<b>こころ</b>		
菅原 大地	人間系	コロナ禍における心の回復力の国際比較「RE-COVER PROJECT」 心の健康を維持するカギは何か
外山 美樹	人間系	コロナ禍でも自分だけは大丈夫？ 非常事態における心と行動のメカニズムを解明する
太刀川 弘和	医学医療系	コロナ禍における外出自粛のメンタルヘルスへの影響調査 ひきこもりから学ぶ新しい生活様式とは
<b>暮らし</b>		
倉橋 節也	ビジネスサイエンス系	人の動きを止めずに新型コロナ感染症の拡大を抑制する AIを使った実現可能な予防策の検証
大塚 泰正	人間系	コロナ禍での初めての在宅勤務が仕事や私生活にもたらした変化の経験 対人関係の良くなる人、働きすぎる人も
谷口 綾子	システム情報系	人々のCOVID-19対応とその心理を理解する 日英独市民の行動変容の比較分析
秋山 肇	人文社会系	ポスト・コロナの憲法学を考える コロナ禍が問う憲法と国家の在り方
明石 純一	人文社会系	コロナ時代の人の国際移動・移住に関する研究基盤の整備 情報のデータベース化と支援のオンライン化を推進
大村 美保	人間系	コロナ下における障害のある人への虐待や支援の実態調査 平時の備えや積極的な働きかけが重要
渡 和由	芸術系	密にならずに集える形をデザインする 「Mobi-tecture」で自分好みの場と活動を作ろう
MAGNIER- WATANABE REMY	ビジネスサイエンス系	テレワークの満足度一カギになるのは自宅での適切なワークスペースの確保 緊急事態宣言下の「強制的なテレワーク」でみえてきたこと
<b>教育</b>		
佐藤 博志	人間系	「コロナ禍の学校経営」をポストコロナに生かす 教育長・校長のリーダーシップ調査
徳永 智子	人間系	外国人の若者が主導する研究 YPARを通じたエンパワメント
澤田 浩子	人文社会系	学習者・支援者がともに「生きる力」を育む オンライン日本語支援の体制づくりと実践
佐々木 銀河	人間系	障害のある学生の新たな学び方 公平で効果的な遠隔授業の在り方とは
大庭 良介	医学医療系	新型コロナウイルス感染症がもたらした知の地殻変動 新しい学問分野誕生の期待
<b>文化</b>		
海後 宗男	人文社会系	マス・メディアの報道に人々は満足していたか コロナ禍における情報発信をビッグデータで検証する
北原 格	計算科学研究センター	カメラ1台でバーチャル博物館をつくる「Remote Museum Explorer」 自由に視点を変えて展示物を楽しめる技術の開発
宮本 道人	システム情報系	ディスタンス・アートとSF思考 コロナ禍の創作から新たな価値を見いだす
池田 真利子	芸術系	夜の文化・芸術的創造活動に注目し、 コロナ禍の影響と支援策を国際比較する